

令和元年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 2年生

	各教科の課題	具体的な授業改善策	改善の評価
国語	○書く能力の向上 語彙の習得 漢字の定着	○言葉の力を身に付け、活用できる授業づくり ・「はじめ」「中」「おわり」や段落を意識した文章を書く機会を増やす。 ・日記、視写、音読を継続する。家庭と連携をする。 ・新しい言葉に着目し、正しい語いの獲得をさせる。	○行事作文、毎日の家庭学習での音読、日記、視写を継続的に取り組み、段落を意識した文章力が書けるようになった。
算数	○知識・理解の定着	○具体的な場面を取り入れた授業づくり ・場面や数の意味が具体的にイメージできる場の設定をする。 ・長さ、時計など学習したことを生活場面で活用する。	○視覚的な教材の提示や自分の考えを記述するノート指導への取り組みにより、問題を読み取る力が向上した。 △より定着させるため生活場面での活用を継続する。
生活	○身近な環境についての学びの充実	○豊かな活動や体験を確保した授業づくり ・動物や植物との関わりを増やすことで自然への興味関心の向上を図る。 ・児童に身近な題材を活かし、児童の気付きを増やす工夫をする。 ・互いに聴き合える場の設定→まとめる力、伝える力の向上を図る。	○身近な題材を活かした教材、場づくりにより、自然や身近なことへの興味・関心が向上した。 ○他学年への発表の場の設定により、他者を意識したまとめる力、発表力が向上した。
音楽	○表現技能の向上	○音楽の楽しさを味わいながら基礎・基本を身に付けさせる授業の工夫 ・歌唱の基礎・基本の定着（自然で無理のない声）を図る。 ・リズム活動の中で、表現活動の充実を図る。	○発声方法を定着させることで、自然に無理のない声を出せる児童が増加した。
図工	○創造的な技能の向上	○様々な材料や用具を工夫して使える力を身に付けさせる授業の工夫 ・安全面の指導を必ず行う。 ・様々な材料や用具に使える活動を充実させる。 ・身に付けた経験を総合的に試すことのできるような題材の設定をする。	○様々な材料や用具を表したいことに合わせて、自分で考えて使える児童が増えた。
体育	○「握力」 ※前年度の体力テストデータから分析	○活動やルールを工夫して運動を楽しく行う中で、基本的な動きを身に付けていくことができる授業づくり ・友達の動きを観察する場面や、模範を示して技術的な指導を行う場面の設定をする。 ・振り返りを行い気付きから学ぶ学習カードの活用をする。 ・握力や筋力を高めるために固定施設や鉄棒などの器具、遊具の活用をする。	○グループ学習の場の設定を取り入れることにより、気付きや振り返りを活かした活動内容が深まった。 △握力や筋力を高めるために継続的に取り組む。